

住まい事始め—「窓」

家を新築、リフォーム、分譲住宅などを考えている方は、土日に入る新聞のチラシが気になるのではないのでしょうか。

ふと住宅のチラシを見て、それをキッカケに住まいの設計について再考してみました。

- **NLDK+S** (Nは部屋数, Sは納戸)

一般的に分譲住宅などの間取りは個室数を中心に、NLDK+Sで構成されているケースが多く見られます。



- **矩形**

その大元になるのは敷地の大きさで、その形状によって間取りの作り方が大きく変わります。その土地の形状は、分譲宅地では南北または東西に長い敷地矩形に対して、道路付けが東西南北どの位置にあるかにより設計の取り掛かりが違ってきます。

分譲の敷地は、30坪ほどが多く、



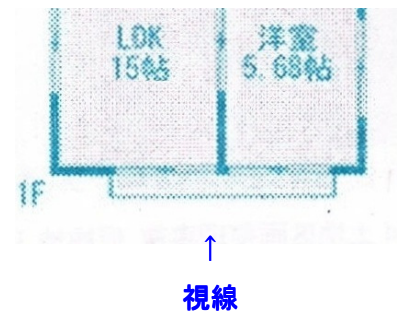
- **建築基準法**

敷地は、4.5×6.5や5×6（間）程度の大きさが多く、建築基準法により建蔽率と容積率は、60%&150%、60%×200%などの条件が設定されています。

- **それぞれの与条件でのプランニングを検討してみます。**

- ① **間取りと外部まわり「窓」**

分譲住宅地で建物を見て気になるのは、道路側に向かって大きな窓があり、そこには大抵レースカーテンが下げられているか、シャッターが閉められていることです。外からの目線があるのでこうしているのでしょうか、家の中はちょっと息苦しいことになりますね。



設計の段階で窓の位置、大きさ、種類などを考える必要がありますね。

解決方法

- ① 窓の位置を目線より外す。上の方に、下の方につける
 - ② 窓の形状、斜めに取り付ける、丸形、縦型、出窓など。
 - ③ 窓の種類、ルーバーサッシ、ルーバーや格子をつける
 - ④ ガラスの種類、型ガラス、くもりガラス、ミラーガラス、フィルムを貼る
- そして
- ⑤ 外構計画で、窓前に室内から楽しめように、日差し除け、視線除けに植栽をする、さらには塀を作る、ことで解決ですね。

